



目 次

情報と図書館	1
シリーズ・所蔵資料紹介④ (菅 楯彦作「夏祭」)	3
平成15年度に利用できる電子ジャーナル	4
エンブレム(寓意図像集)関係コレクションを購入しました!!	6
ミニ・トピックス	8
平成13・14年度購入日本紹介コーナー図書	9
附属図書館利用状況	10
本学教官著作寄贈図書	12

情報と図書館

山 岸 正 明



図書館というと、皆さんは何を所蔵するところと
思いますか。文学書がある、専門書がある、辞書が
ある、図鑑がある、雑誌がある、新聞がある、マイ
クロフィルムがある、ビデオがある、CDがあ
る、・・・、といったことでしょうか。ここにあげた
ものは情報を伝達するもので、それが紙の媒体で
あったり、フィルムやビデオテープの媒体であつた
りします。すなわち情報を伝達する媒体を所蔵し、
それらの閲覧できるところが図書館と言っても良い
でしょう。ここで、情報を伝達するものをメディア
と呼びます。情報科学では、全てのメディアをディ
ジタル化し、コンピュータで処理することをマルチ
メディアとよび、それを処理できるコンピュータを
マルチメディア・パソコンと呼んでいます。図書館
に置いてあります50台のパソコンは、マルチメ
ディア・パソコンです。

私が、大学生であった40年ほど前、学問における
最新の情報は、学会の発表、その次が紙媒体による
専門誌でした。したがって、図書館は最新の情報を
得る場所であり、大学という研究と教育の府には、
書物やマイクロフィルムなどの蔵書を数多く集めて
図書館を充実させることが重要なことでした。

それが、ここ十年間で大きく変わってきました。

蔵書を増やすことはもちろん重
要なことですが、紙媒体の情報
やビデオ情報などをデジタル
化して、電子的に閲覧できる電
子図書館の構築が急速に進んで
きました。それは、コンピュー
タとネットワーク(インター
ネット)技術などの、情報技術のめざましい発達に
よって可能となったものです。

各大学では、情報化は教育・研究の基盤として位
置づけられ、競って学内における情報の最先端技術
の研究と整備が行われています。そして、情報関連
のセンターと図書館を有機的に結びつけて、大学の
基盤とする動きが活発化しています。このような情
報化は、図書館の有り様をどのように変えていくの
でしょうか。そして、図書館はどのように発展して
いくことが望まれ、総合情報処理センターはどのよ
うな関わりをする必要があるのでしょうか。

鳥取大学における情報化の取り組みや学生に対す
る情報教育の現状はどうでしょうか。本学における
情報化は、総合情報処理センターの前身である情報
処理センターから始まっています。本学におけるコ
ンピュータ関係を職業とするための「情報処理教育」

は、工学部が創設された昭和41年頃から始まっていますし、農学部でも行われてきました。コンピュータ活用能力を育成するという観点からの「情報教育」は昭和60年から教育学部と現在の教育地域科学部で行われ、共通教育の「情報リテラシ」を先取りしたかたちで授業が行われてきました。

ネットワークの利用ができるようになったのが、平成元年からと思います。最初は、研究用であり、一部の学部で情報教育に利用したものの、全学部が教育に利用できるまでにはかなり時間がかかりました。全学でネットワークを教育に利用できるようになったのは平成8年頃からです。情報処理センターのコンピュータをリプレイスするときに、改組となった総合情報処理センター（米子サブセンターも含む）図書館、各学部で教育用のマルチメディアパソコンが導入され、本学の情報教育が軌道にのりました。このとき、図書館に50台のインターネットに接続されたマルチメディアパソコンが設置され、本学では初めて学生がパソコンを自由に使える環境となりました。学内のネットワークを使って、学生が自由に図書検索、大学外の図書館の蔵書検索が大学内のどこからでもできるようになりました。そして、平成15年度の新入生からノートパソコンを必携にし、「情報リテラシ」と語学教育、その他の講義にパソコンを使い、教官がマルチメディアを活用した講義を行い、分かる授業の創造を推し進めています。

現在では、すべてのメディアはデジタル化することができ、そのデータをコンピュータ内に保存し、検索エンジンを使って効率的に必要なデータを取り出すことができるようになりました。それもネットワークを通じて、遠隔地から必要な情報を取り出すことができます。このことを可能にするためには、図書館に所蔵していた書物、ビデオなどはデジタル化してサーバーに蓄積し、閲覧に供する、いわゆる電子図書館を構築しなければなりません。小林一図書館長兼副学長が図書館便りで述べているように、鳥取大学は時代に即した図書館をめざして電子図書館の構築を推し進めています。

ネットワーク上で図書館に所蔵されているあらゆる情報が利用できれば、きわめて便利になります。

例えば、全ての図書、ビデオなどがデジタル化した電子図書館ができたとなると、いちいち図書館に足を運ばなくても、研究室や講義室、あるいは家で必要な本や映像などの内容を見ることができます。時間と空間が極端に縮まります。

しかし、ここで問題となるのは情報倫理です。情報化が進めば進むほど、情報倫理（情報モラルと記されていることが多い）教育が求められ、情報教育の充実が必要になります。図書館で所蔵している図書やビデオなどには著作権があり、勝手に形を変えて保存することは著作権法で禁じられています。著作権が適用されないためには、作成者の死後50年以上たっていること等が必要です。したがって、多くの場合著作権法の適用範囲に入り、簡単にデジタル化できません。最近発刊される本の中には、ネットワーク時代に対応したデジタル化された図書の販売もなされるようになりました。

また、印刷業界では、紙媒体の書籍から、電子媒体の書籍への転換が求められるとして、分厚い本を持ち歩かなくてもコンピュータ端末から本を読めるようにする電子ブックの開発を進めています。最近、本型の電子書籍端末が公開されたという報道がありました。本の内容はメモリーカードにダウンロードしたり、ネットワークを通じて本屋や電子図書館に接続して、場所を選ぶことなく電子書籍端末を使って本を読むという光景があちこちで見られるようになるでしょう。

さらに、何時でも何処でもコンピュータが使えることを目指した、ユビキタス・コンピュータの開発が進められています。ごく最近、0.4mm角の中に無線発信器を備えたコンピュータを作る技術ができました。そうすると、紙の中にコンピュータをすき込むことができ、ICタグ付きの本ができます。そうすると、本の貸し出し、返却の管理が自動的に行うことができるようになります。もし、ICタグを本だけではなく、全ての品物に取り付け、コンピュータで管理することができれば、流通が一変するでしょう。

今後、教職員や学生一人ひとりにIPアドレスを与えたコンピュータ組み込みの身分証明書を発行すれば、講義の受講手続き、出席、各種の手続き、図書

館の利用、建物への入室管理など、全てを情報技術で一元管理できるようになるでしょう。そうすれば、教職員や学生へのサービスが今以上に向上するものと思います。

このように、近い将来、図書館のありようが現在より大きく変化していくことになるでしょう。今後は、図書館も総合情報処理センターと連携をとりな

がら、情報技術を活用して知的財産の宝庫である図書館の運営を行うことが求められることでしょう。本学では、総合情報処理センターを改組拡充して、図書館とも連携したよりよいサービス活動ができるような計画が進められています。その実現が待たれるところです。

(総合情報処理センター長、教育地域科学部教授)

シリーズ：所蔵資料紹介

菅 楯彦作 「夏 祭」

菅 楯彦(すが たてひこ：1878・明治11年～1963・昭和38年)

日本画家。鳥取市生まれ。菅盛南の長男。名は藤太郎。最初、盛虎、ついで静湖。1902年以後楯彦と号す。幼時に両親と共に大阪へ移住。1889年(明治22年)楯彦11歳の時、父盛南が中風で倒れたため家業の画を継ぐ。絵は独学で、父以外に師事した人は無く、様々な流派の技法を取り入れて自家筆中の物とし、ついに彼独自の画風を確立した。その中心は写生体が基調である。絵画の素養として舞楽・有職故実・国学・漢学を学び、それらが彼の絵画に反映している。有職故実を国学者 鎌垣春岡(1833～1909)に学んだ。彼の師、^{はるおか}鎌垣春岡は和歌山藩の人であるが、晩年大阪に出て、梅を詠ずる和歌1万首を天満宮に献納した事で知られる当時の賢学の一人である。楯彦の描く舞楽や歴史画の格調高さを物語っているのも、この春岡に学んだところが大きい。1935年の「皇后冊立」(明治神宮聖徳記念絵画館所蔵)はその代表作といえる。1930年「春宵直行」によりフランス政府オフィエ・ド・レトアール勲章受賞。1958年芸術院恩賜賞。1962年大阪市名誉市民賞を受けた。晩年は、彼がこよなく愛した大阪の風俗を濃淡様々な技法を駆使して描き、多くの作品を生み出した。1962年鳥取県庁の庁舎に題字を書き、ま

た県人会の依頼で「神倉秋景」(鳥取県立博物館所蔵)を描いた。

平成14年度郷土資料費で購入したこの作品は、フランスで受賞した絵画とほぼ同じ手法で描いた比較的若いときの絵の一幅である。



(解説：教育地域科学部教授 塩見邦彦)

平成15年度に利用できる電子ジャーナル

附属図書館では平成14年度から電子ジャーナルの提供を始めていますが、平成15年度よりScience Directは全分野利用できるようになり、また、IEEE社CSLSP-eの電子ジャーナルも利用が可能となりました。システムによっては、フルテキストをPDFで見ただけでなく、検索機能を生かして電子メールによるお知らせ(アラート機能)などを利用すれば、教育、研究に大いに役立ちますので是非ご利用下さい。

Science Direct

Science Directは、Elsevier社が提供する世界最大のフルテキストデータベースです。Elsevier社が発行する1,700以上の科学・技術・医学・社会科学分野のジャーナルに加え、MEDLINEなどの書誌データベース、レファレンスワークも搭載し、総合的な研究支援環境を提供しています。現在フルテキストの数は400万件を超えています。また平成15年度よりAcademic Press社やW. B. Saunders社等の雑誌も見ることが出来ます。

《主な特徴》

- 同時ユーザー数無制限、24時間アクセス可能。
- フルテキストはPDFとHTMLの両形式で提供。
- 冊子体の発行前の論文をArticles in Pressとして見ることができる。
- フルテキスト全体が検索の対象。
- パーソナライズ機能を使用してユーザーが自分にあつた利用環境を設定できる。(お気に入りジャーナルリスト、検索式の保存・再利用、検索履歴の利用)
- 電子メールによりアラート機能が利用できます。(最新号のアラート、検索アラート、引用アラート)

《アクセス方法》

図書館ホームページ(<http://www.lib.tottori-u.ac.jp>)メインページの「Science Direct」をクリックして下さい。

Science Direct 画面になります。この画面からの利用となります。

利用方法や機能紹介は右上の「日本語サポート」

をクリックすれば詳しく紹介されています。クイックレファレンスガイドもダウンロード出来ますのでご利用下さい。(図書館カウンターにもあります。)



Springer-LINK

Springer-LINKは、Springer社グループの出版している雑誌の電子ジャーナルを見ることが出来ます。現在刊行されている約490点のジャーナルが利用できます。

《主な特徴》

- Online Firstでは、査読済み論文を冊子体出版前に閲覧出来ます。
- 目次、抄録等を含めた書誌情報はHTML形式で表示。
- 強力な検索エンジンを格納し、高速でパワフルな検索が可能
- 電子メールによりアラート機能が利用できます。



《アクセス方法》

図書館ホームページメインページの「Springer-LINK」をクリックして下さい。

Springer-LINK画面になります。この画面からの利用となります。

LINK検索は、画面上の“ Search for ”のエリアに検索語を入力し、“ return ”プルダウンメニューより選択して検索出来ます。また、“ Advanced Search ”を選択すれば限定した検索が可能となります。

“ Browse Publications ”(一覧), “ Browse Online Libraries ”(分野別リスト)を選択しジャーナルにアクセスする方法もあります。

Science-ONLINE

アメリカ科学振興協会(American Association for the Advancement of Science)から刊行されている「Science」の電子ジャーナル版。1995年10月分から利用できます。

《アクセス方法》

図書館ホームページメインページの「Springer-LINK」をクリックして下さい。

Springer-LINK画面になります。この画面からの利用となります。

CSLSP-e(IEEE社) (平成15年度より)

CSLSP-e (Computer Society Library Subscription Plan - electronic)とはIEEE Computer Society から刊行される雑誌20種類及びプロシーディングス(現在1000タイトル以上)をオンラインで閲覧可能です。

《アクセス方法》

図書館ホームページの「CSLSP(IEEE)」をクリックして下さい。

IEEE Digital Library画面になります。この画面からの利用となります。

Nature

Nature は世界中の科学情報をタイムリーに伝える週刊誌 + 電子ジャーナルです。

《アクセス方法》

図書館ホームページメインページの「Nature」をクリックして下さい。

Nature画面になります。この画面からの利用となります。

ユーザ・パスワード管理の利用ですので、図書館ホームページメインページの「Nature」横の「説明」をクリックして確認して下さい。

その他の電子ジャーナル

鳥取大学が冊子体を購読すれば見ることが出来る電子ジャーナルもあります。図書館ホームページメインページの「その他電子ジャーナル」をクリックして下さい。(医学部分は医学部分館ホームページよりご覧下さい。)

以上、簡単に説明してきましたが、フルテキストを閲覧するには、主にPDF形式での出力となりますので、Acrobat Readerが必要です。サイトよりダウンロードしてご利用下さい。(HTML形式を提供しているサイトもあります)

なお、利用について不明な点がございましたら、学術情報サービス係(内線7060)または電子情報係(内線7030)までお問い合わせ下さい。

エンブレム(寓意図像集)関係コレクションを購入しました!!

- 平成 14 年度大型コレクションの紹介 -

平成 14 年度の文部科学省特別図書購入費（大型コレクション）でエンブレム（寓意図像集）関係コレクションを購入しました。この資料は 16 世紀から 18 世紀にかけて刊行されたエンブレム関係図書（死の寓意表現の代表である「死の舞踏」を含む全 6 点）の 1 セットで、美術表現の上でも、刊行当時の西洋の世界観（思想・歴史・文学）を知る上でも極めて重要な著作であり、美術的、歴史的価値の高い資料です。

エンブレムは、ギリシャ古来の西洋の伝統であるアレゴリー（寓意）を元として、中世、ルネサンス、バロックにおいて盛んに制作、著作され、美術や音楽、文学、演劇等の芸術全般にわたり表現上の中心的位置を占めており、その背景には、歴史観や西洋思想史上の伝統的な観念が色濃く反映されています。このコレクションは、こうしたエンブレムをオリジナル作品から直接、研究・考察することのできる稀覯書を中心に集めた貴重な資料群です。

1. ラ・ペリエール「良き創意の劇場（道徳的寓意図像集）」

La Perrière, Guillaume de

Le Théâtre des bons engins, auquel sont contenuz cent Emblemes moraux.

Paris: Denys Janot, (1539)

道徳的な寓意図像 100 枚からなるエンブレム本。アルチャーティのエンブレム本はフランスでも熱狂的な人気を博したが、それに伴いフランス人著者ギョーム・ド・ラ・ペリエールによって出されたエンブレム本が本書である。フランス人による最初のエンブレム本である。初版も本書と同じ 1539 年に出された。



2. ホラポロ「ヒエログリフィカ」ギリシャ語・ラテン語版

Horapollo

Hieroglyphica. Ori Apollinis Niliaci, De sacris notis & sculpturis libri duo ...(Greek version by Philippus; translated into Latin and edited by J. Mercier.)

Paris: apud Iacobum Kerver, 1551.

ホラポロ（＝ホルス・アポロ）の「ヒエログリフィカ」は「象形文字の秘密」という意味だが、古代エジプトの象形文字について正確な知識を伝えるものではなく、古代宗教の変形としての魔術や迷信を説明したものである。そこで用いられたシンボルは 15～18 世紀の芸術家や作家たちを刺激する魅力的なものであった。1531 年にアルチャーティが「ヒエログリフィカ」の当世版ともいえる「エンブレマータ」を出版し、その後の寓意画像集の流行を引き起こした。



3.(エンブレム) アリアス・モンタノ「人間の救済」第2版 クリストフ・プラントイン行

Arias Montano.

Humanae Salutis Monumenta B. Ariae Montani Studio Constructa et Decantata.

Antwerp: Christopher Plantin, n.d.[1572]

クリストフ・プラントイン(c.1520 - 1589)はアントワープの最も偉大な印刷者であり、16世紀ヨーロッパの最も優れた印刷者の一人であった。プラントインが印刷を開始した当時は木版画が主流であったが、1570年以降、プラントインによる銅版画の頻用によりオランダ、ベルギー地方とフランスにおいて銅版画が多く用いられるようになった。本書は第2版であり、本文活字は組み直され、旧約・新約聖書の場面を描いた銅版は新たに彫り直された。プラントインが1571年に八折判として印行したモンタノの「人間の救済」は、オランダ、ベルギー地方で多くの銅版画を入れて出版された最初の本であり、人類の墮落と救済の奇跡を71点の銅版画とともに描いたものである。各銅版画にはアリアス・モンタノによるラテン語二行詩の注釈が付せられ、歌(オード)や聖歌が添えられている。プラントインの序文によれば銅版画はプラントインの下絵に基づき、Wiericx, Pieter van der Borchtの兄弟、Abraham de Bruyn, Pieter Huys, Crispijn van den Broecke などプラントインの共同製作者の中でも最も優れた面々によって彫られたものである。ヴェラム装丁が外れかかっており、題扉に初期の持ち主による蔵書表記 Simoni de Felicia(?) が書かれているが、上から貼られた紙で隠されている。題扉裏面に F. Liechtenstein Bibliothek の蔵書印。



4. 銅版画「死の舞踏」

[Dance of Death]

Memento Mori - Es ist des Menschen kind ein wurm ...

25.5 x 20cm

17世紀前半のドイツの銅版画。作者不明。



5.(死の舞踏) マルシャン「偉大な死の舞踏」

[Dance of Death] [Marchant, Guyot]

La Grande Danse Macabre des Hommes et des Femmes, Historiée & Renouvelée de Vieux Gaulois, en Langage le Plus Poli de Notre Temps.

Troyes: (Jean - Antoine Garnier), [1728]

1486年版に使用された版木を使用したフランスのチャップ・ブック。この希少なチャップ・ブックの「死の舞踏」には61枚の木版画が入っており、その大部分の木版画はマルシャンの1486年版に使用されたオリジナルの版木を使って刷られたものである。その他に出版人のガルニエが持っていた15世紀の版木も使用している。



6. ヘンケル/シェーネ共編「エンブレマータ：16・17世紀の象徴芸術」全2巻

Henkel, Arthur & Albrecht schöne, eds.

Emblemata: Handbuch zur Sinnbildkunst des XVI. und XVII. Jahrhunderts.

Stuttgart: Metzler, 1967-1976.

ゲッティンゲン・アカデミーの後援で刊行された書で、ドイツ、オランダ、フランス、スペイン、イタリア、イギリスのエンブレム本に基づいた豊富な情報の書誌。



ミニ・トピックス

サイエンス・ダイレクト（電子ジャーナル）の利用講習会

昨年より導入し、今年度から全分野の利用が可能となったエルゼビア社のサイエンス・ダイレクトの利用講習会を、平成15年6月17日に鳥取地区会場（附属図書館）、18日に米子地区会場（医学部保健学科棟）の2つの会場で、参加者延べ50名を得て開催しました。講師にサイエンス・ダイレクト認定トレーナーの松山氏を招き、精度の高い検索方法や最新情報を確実に入手するアラートの設定など様々な機能を分か

り易く解説していただきました。サイエンス・ダイレクトの効果的な利活用方法を学ぶことができ、大変好評でした。



図書館で中学生が職場体験学習

附属図書館では今年度も、6月24日から26日の3日間を教育地域科学部附属中学校、6月30日から7月4日の5日間を鳥取市立湖東中学校と、市内の2つの中学校の職場体験学習を受け



入れました。これは、仕事などの体験活動や社会へ積極的に関わる体験を通して地域社会での人間関係づくりを学び、そして共に生きる心や感謝の心を育むことを目的として両校が実施しているもので、各々の生徒3人ずつが参加しました。両校の中学生は、カウンターでの図書の貸出・返却処理をはじめ、雑誌の受付やISBNで検索してNACSIS-CATから書誌データをダウンロードするなどの業務を実際に体験したほか、今回の新しいメニューである簡単なホームページの作り方や電子ジャーナル体験などを熱心に学びました。

平成13・14年度購入 日本紹介コーナー図書



平成13・14年度の留学生用図書購入費で次の37点の資料を購入しました。選定にあたって、教育地域科学部の谷守先生、工学部の大木先生、農学部の松村先生（平成13年度）、緒方先生（平成14年度）のご協力を得ました。ここに改めてお礼申し上げます。

著（編）者名	書名・発行年
コンピュータ用語大辞典編集委員会	英和コンピュータ用語大辞典第3版 2001
アジア学生文化協会	外国人留学生のための大学院入学案内 2003-2004年度版
山崎信寿 他	科学技術日本語案内 2002
海野福寿	韓国併合史の研究 2000
藤堂明保	漢字語源辞典 1998
山口佳紀	暮らしのことば語源辞典 1988
飛田良文、佐藤武義	現代日本語講座 2001-2002 第1巻 言語情報、第2巻 表現、第3巻 発音、第4巻 語彙、 第5巻 文法、第6巻 文字・表記
福岡安則、金明秀	在日韓国人青年の生活と意識 1997
工藤真由美	児童生徒に対する日本語教育のための基本語彙調査 1999
育英出版社	新版在日韓国人の百人 1996年版
辻井京雲	図説漢字の成り立ち事典 1993
金宅圭	日韓民俗文化比較論 2000
渡辺誠	日韓交流の民俗考古学 1995
大林太良 他編	日中文化研究12特集民俗学再生の道 1998
日中英用語辞典編集委員会	日中英対照エレクトロニクス用語辞典 2000
山口百々男	和英・日本ことわざ成語辞典 1999
Sachiko Ide, Naomi Hanaoka McGloin	Aspects of Japanese women's language 女ことばの姿 1990
E.E.Daub, R.B.Bird, 井上信雄	Basic technical Japanese 1990
Marie Soderberg	Chinese-Japanese relations in the twenty-first century : complementarity and conflict 2002
Yahya Rahmat-Samii, Eric Michielssen	Electromagnetic optimization by genetic algorithms 1999
Pinaki Mazumder, Elizabeth M. Rudnick	Genetic algorithms for VLSI design, layout & test automation 1999
加納千恵子 他	Intermediate kanji book vol.2 2001
James L. McClain	Japan, a modern history 2002"
Raymond Furse	Japan : an invitation 2002
Amy Sylvester Katoh, Shin Kimura	Japan : the art of living : a sourcebook of Japanese style for the Western home 1990
日本貿易振興会	JETRO business japanese-KACHO- 1997
L.D.james, Edward E.Daub	KANJI for understanding technical Japanese 1995
Noboru Murata, Alexandra Black	The Japanese house : architecture and interiors 2000
Wyn Grant	The common agricultural policy 1997
Murasaki Shikibu, translated by Edward G.Seidensticker	The tale of Genji v. 1 v. 2 2002
Yasuko Obana	Understanding Japanese : a handbook for learners and teachers 2000

附属図書館利用状況

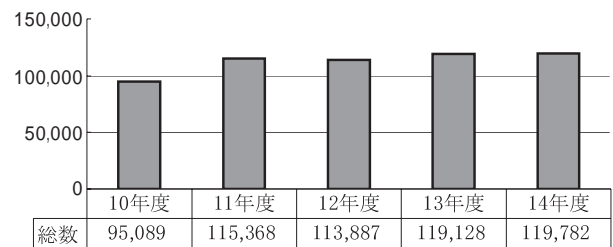
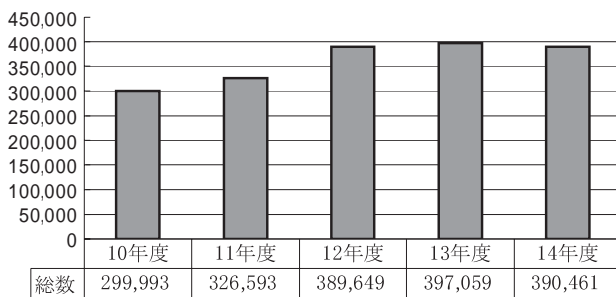
年度別開館日数

	平成10年度	平成11年度	平成12年度	平成13年度	平成14年度
中央館	270日	298日	308日	310日	309日
医学部分館	277日	316日	323日	328日	327日

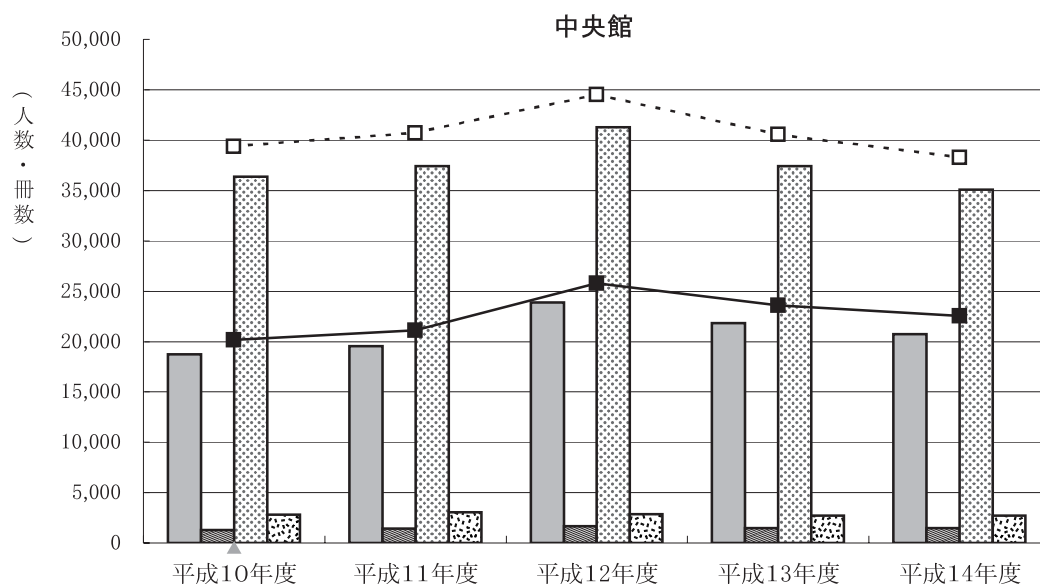
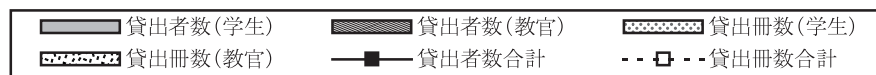
年度別入館者数

中央館

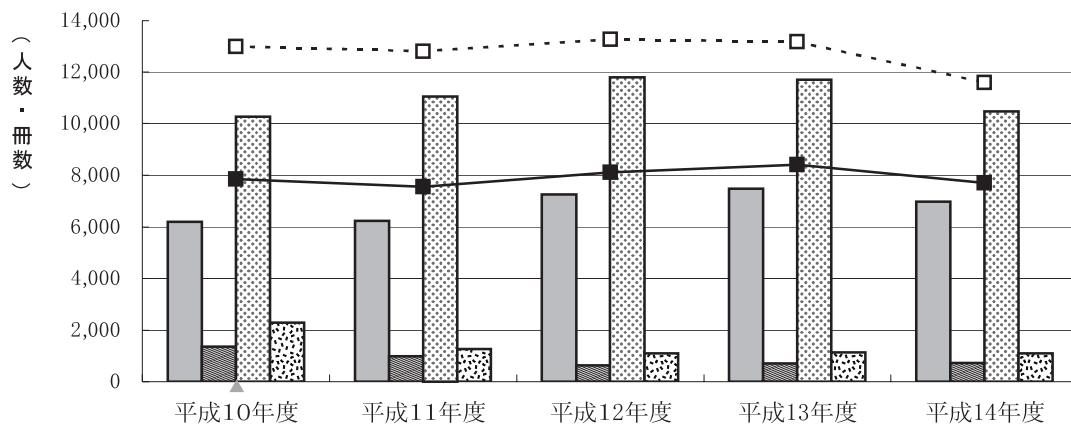
医学部分館



年度別貸出者数・冊数

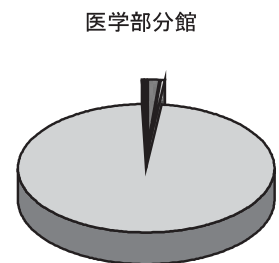
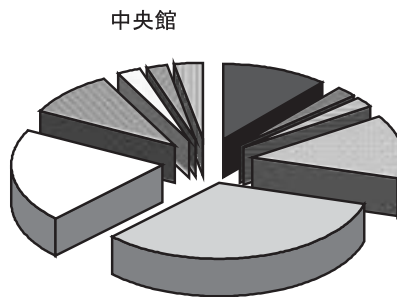
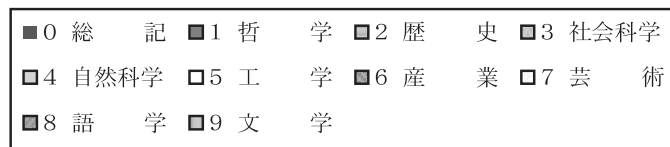


医学部分館



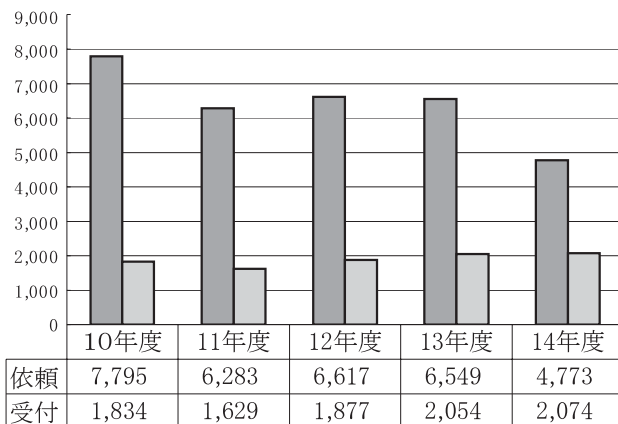
平成14年度分類別貸出冊数

分類	貸出冊数	
	中央館	医学部分館
総数	38,294	11,587
0 総記	4,367	16
1 哲学	798	132
2 歴史	868	3
3 社会科学	5,193	87
4 自然科学	12,703	11,296
5 工学	7,640	8
6 産業	3,783	2
7 芸術	957	14
8 語学	836	1
9 文学	1,149	28

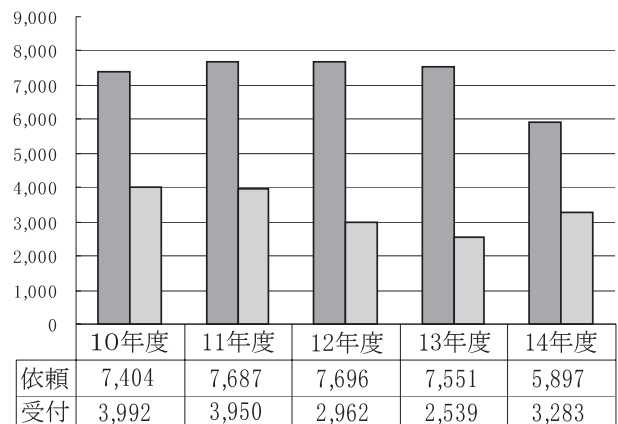


文献複写学外依頼・受付件数

中央館



医学部分館



■ 依頼 □ 受付

本学教官著作寄贈図書（平成13年9月～平成15年8月受入分）

この2年間に、次の資料を寄贈していただきました。中央館2階の本学教官著作寄贈図書コーナーに配架し利用に供しています。（寄贈者名のABC順。所属等は平成15年9月1日現在）

頭文字	寄贈者名・所属等	書名	発行所名・発行年月日
FU	藤島弘純 （元教育地域科学部）	天神川の自然	富士書店 1997.1.20
FU	藤島弘純 （元教育地域科学部）	日野川の自然	富士書店 2000.2.1
FU	藤島弘純 （元教育地域科学部）	重信川の自然	創風社 2001.10.15
FU	福安佳子 （教育地域科学部）	心に残るふるさと鳥取アピールのための五ヶ国語表現集	富士書店 2002.8.8
HA	浜本純逸 （元教育地域科学部）	文学教育の歩みと理論	東洋館出版社 2001.3.30
HA	浜本純逸 （元教育地域科学部）	国語科教育論	溪水社 1996.8.5
HA	浜本純逸 （元教育地域科学部）	国語科新単元学習論 （国語科新単元学習による授業改革1）	明治図書 1997.8
HA	浜本純逸 （元教育地域科学部）	文学を学ぶ・文学で学ぶ （シリーズ・国語教育新時代）	東洋館出版社 1996.8.20
HI	日置佳之 （農学部）	ミティゲーション 自然環境の保全・復元技術	ソフトサイエンス社 2001.9.10
HI	日置佳之 （農学部）	生態工学	朝倉書店 2002.4.15
HI	日置佳之 （農学部）	道と緑のキーワード事典	技報堂出版 2002.5.24
II	飯野晃啓 （医学部）	医学史概説	日本写真出版 1998.4
IN	井上光弘 （乾燥地研究センター）	ゆたかな森をつくりだせ （「いい環境」をハイテクでつくる）	PHP研究所 2002.3.20
IR	入江克己 （教育地域科学部）	「生活」を楽しむ授業づくり QOLの理念で取り組む養護学校の実践	明治図書 2002.2
IS	石原 昂 （元農学部）	新版農業機械学	朝倉書店 1975.9.30
KO	小枝達也 （教育地域科学部）	ADHD,LD,HFPDD,軽度MR児保健指導マニュアル ちょっと気になる子どもたちへの贈りもの	診断と治療社 2002.6
MA	松原茂昌 （農学部）	中山間地域農業の支援と政策	農林統計協会 2001.12.10
NA	内藤久子 （教育地域科学部）	チェコ音楽の歴史 民族の音の表徴	音楽の友社 2002.2.28
NI	西尾達雄 （教育地域科学部）	日本植民地下朝鮮における学校体育政策	明石書店 2003.2.20
SA	作野友康 （農学部）	環境のはなし 鳥取発・地球再生の智慧	富士書店 2002.7
TA	田畑博敏 （教育地域科学部）	フレーゲの論理哲学	九州大学出版会 2002.2
TA	高橋国昭 （農学部）	ブドウの絵本 （そだててあそぼう45）	農山漁村文化協会 2002.3
TA	武田修志 （教育地域科学部）	人生を変える読書 （PHP新書162）	PHP研究所 2001.7.27
TA	田中仁 （教育地域科学部）	三条右大臣集注釈稿	古典文学論注の会 2002.5
TO	徳高平蔵 （工学部）	自己組織化マップ応用事例集	海文堂 2002.10.15
YA	山本福壽 （農学部）	水辺林の生態学	東京大学出版会 2002.8.20
YA	山本福壽 （農学部）	樹木環境生理学 （現代の林学13）	文永堂 2002.11.20

鳥取大学附属図書館報 第102号（2003年10月発行）

編集・発行：鳥取大学附属図書館 〒680-8554 鳥取市湖山町南4丁目101 ☎0857-31-6727
ホームページアドレス <http://www.lib.tottori-u.ac.jp>